

京都物語

どこから散策しようかと旅人を悩ませるほど、数多くの観光名所が京都にはあります。時間が限られているあなたに、選りすぐりのモデルコースを2つご紹介します。

# 東山の石畳を歩く

古刹の落ち着いた佇まいとみやげもの屋に並んだ華やかな京小物が好対照な東山を散策するコースです。

八坂神社で厄除け祈願

四条通の一番東に「祇園さん」の名で親しまれている「八坂神社」があります。境内を抜けると、桜の名所「円山公園」があります。池や橋を配した大庭園のような園内を一周したら南へ進みます。途中、豊臣秀吉の妻、ねねが余生を送った「高台寺」、情緒満点の道「石塀小路」、坂本龍馬ら維新の志士が眠る「京都霊山護国神社」など見どころが密集しています。

二年坂から三年坂までそぞろ歩き

二年坂から三年坂の間には、陶磁器や骨董、京小物、甘味などの店が立ち並んでいて、おみやげを探すのに最適です。途中、八坂通りを下って東山のシンボル「八坂の塔」を参拝することもお忘れなく。

清水寺で「清水の舞台」に立つ

三年坂を左に折れ、観光客でにぎわう清水坂を上るとご存知「清水寺」にたどり着きます。春の桜と新緑、秋の紅葉と四季折々の美しさを背景にした、かの有名な「清水の舞台」からの眺望は必見です。

# きぬかけの路を歩く

世界文化遺産に登録されている寺院を4つ巡る欲張りなコースです。4つの寺院にはそれぞれに異なる趣があり、季節を問わずいつでも旅人に感動を与えてくれます。

金閣寺の金色に目がくらむ

正式には「鹿苑寺」といい、室町時代に足利義満が建てた別荘です。応仁の乱で焼失→再建→昭和25年に放火で焼失→再建という変遷をたどり、今日に至っています。

鏡湖池に華麗な姿を映しながら金色に光り輝く金閣は、見ごたえ十分です。

龍安寺で物思いにふける

金閣寺の金色をまぶたに焼き付けたら、山沿いに歩くこと20分（バスに乗れば5分）、石庭で有名な龍安寺にたどり着きます。禅の境地を表現したという枯山水の庭園は、作者は不詳ですが、「抽象造形の極み」と高く評価されています。

仁和寺で門を見上げる

再び、山沿いの道に戻って南に進むと、荘厳で重厚感あふれる仁和寺の二王門が見えてきます。内部には、旧御室御所、金堂、鐘楼、御影堂、五重塔など国宝、重要文化財も点在しています。

天竜寺で四季の移り変わりを知る

電車に乗って、御室駅から嵐山駅まで移動します。駅を降りると、目の前に天竜寺があります。足利尊氏が後醍醐天皇の菩提を弔うために建てたもので、嵐山を借景にした庭園で有名です。四季折々に庭園と調和する嵐山の美しさは見事です。

# 京都の歳時記

【春】

太閤花見行列 4月第2日曜　醍醐寺

春の一般公開 3月下旬～4月上旬5日間  
京都御所

壬生狂言 4/29～5/5　壬生寺

葵祭 5/15　下鴨／上賀茂神社

三船祭 5月第3日曜　車折神社

※桜の名所  
円山公園、哲学の道、醍醐寺、仁和寺

【夏】

貴船祭 6/1　貴船神社

祇園祭山鉾巡行 7/17　八坂神社

陶器まつり 8/7～10　若宮八幡宮

萬燈会 8/8～10　六波羅蜜寺

五山送り火 8/16　大文字山など五山

【秋】

観月の夕べ 待宵～仲秋　大覚寺

秋の一般公開 11月下旬～12月上旬5日間  
京都御所

時代祭 10/22　平安神宮

鞍馬の火祭 10/22　由岐神社

曲水の宴 11/3　城南宮

※紅葉の名所  
永観堂、常寂光寺、東福寺、天竜寺

【冬】

吉例顔見世 11/30～12/26　南座

終い弘法 12/21　東寺

をけら詣り 12/31　八坂神社

蹴鞠始め 1/4　下鴨神社

初弘法 1/21　東寺